

ゆきぐまち

議会だより

平成26年

第114号

7月27日
発行

湯沢中里 ホタル祭り

7月5日、湯沢中里「ホタルの里」でホタル祭りが開催され、約300匹のホタルの舞いに多くの人が感動しました。

【ホタル飛翔期間】6月末～8月初旬



CONTENTS

目次

この人に会いました	追跡レポート特集	議会に一言	一般質問	議員表決結果報告	議員全員協議会	臨時議会	閉会中の常任委員会調査	開会中の常任委員会報告	一般会計補正予算
22	21	19	18	8	7	6	5	3	2

6月定例会は、6月10日から6月18日まで開催され、補正予算及び条例などが可決されました。

●インターネットにより本会議の音声配信を行っています。

- ① 湯沢町ホームページから
- ② 町議会情報を選択
- ③ 本会議録音音声継を選択
- ④ 目次から、日付を選択してください。



●Ustreamによる、インターネット中継配信を行っています。

●一般質問は、FMゆきぐに放送による音声配信をしています。

一般会計補正予算審査特別委員会 (6月10日)

特別委員長 高橋 綾夫

主な質疑

問 学園振興費、8月以降のイベントは考えているか。

答 一般内覧会を8月、9月27日に開園記念式典を実施。

問 温泉通り利用者調査とは。

答 アンケート等各種調査。季節ごと、平日・休日ごと、年間8日間実施予定。

問 農地中間管理事業の見通しは。

答 町が受託して人を雇い事業にあたる。効率の悪い農地を町が抱

歳入・歳出それぞれ7,656万5,000円を追加し、総額は62億4,528万4,000円。

歳入 繰越金額（当初予算：5,000万円）が1億672万円に。

財産売払いによる収入が約1,000万円。他は国と県からの収入が主なものです。

歳出 増額の主だったものは、

庁舎管理費……………	約167万円
旧学校施設等管理費……………	約1,304万円
一之町の街路灯助成補助金……………	250万円
駅多機能トイレ整備補助金……………	500万円
三俣地域振興対策……………	215万円
『魚沼荘』改築負担金……………	約154万円
農地中間管理事業……………	約198万円
農業用水路土砂上げ……………	170万円
道路橋梁新設改良……………	590万円
湯沢温泉通り利用者調査……………	650万円
ゲートボール場の樹木剪定等……………	177万円
ゆやま荘の解体の増額……………	820万円
公民館事務補助……………	約150万円
公民館冷房設備更新増……………	330万円

えたりはしない。

問 樹木剪定等増、すでにゲートボール場脇の樹木は伐採されている。手順を遵守すべきだ。それに剪定と伐採は違う。また、残存の木はどうする。

答 かなり以前より、近隣の田に針葉樹の葉が落ちそれが腐らず、所有者が非常に難儀をしていた。田植え前の早急な対応が求められ、やむを得ず当初予算の委託料で対応したが、

この事業分としては予算計上していないので補正を実施した。

緊急のものであれば専決処分し報告すべきであった。今後はこのようなことのないよう務めたい。また、さらなる伐採はありません。

問 ワールドカップ事務局嘱託員も6月当初より就業している。これはどうか。

答 早急な体制の構築を求められ、このようなこととなってしまった。

問 ワールドカップ開催後に赤字が発生した場合の対応は。

答 赤字に陥るようであれば開催しない。開催は来春の段階で、歳入歳出を精査し最終判断をする。

懸念材料は、全日本スキー連盟（FIS）との間で明文化して進めていきたい。

賛成全員・可決

本会議 (6月18日)

本会議『特別委員長報告』の後、半沢副町長より発言があった。

発言内容の要約

特別委員会で指摘のあった

●ゲートボール場樹木伐採

●ワールドカップ事務局

局長

この他にも、議決前に執行された事業があ

りました。

●農業用水路の土砂上げ

●童画凱旋展の一部費用

土砂上げは、樹木伐採と同様当初予算分を充てたあと、不足となる分を計上したものだ。

以上4点、予備費を充用するか専決処分とするのが適切でした。申し訳ありませんでした。

賛成全員・可決



予算案議決前に伐採されたゲートボール場の樹木

開会中の常任委員会審査報告

6月10日

産業建設常任委員会

委員長 関 忠夫

(議案5件) ※詳細は表決結果参照

新規町道の認定

全員賛成

●新規認定する路線

大野原9号線約65メートル
起点 大字神立大野原1647番地313先／終点 大字神立大野原1647番地361先



新規認定された町道

総務文教常任委員会

委員長 今村 定一

(議案2件・請願1件)

※詳細は表決結果参照

湯沢町普通財産使用料徴収条例の制定

全員賛成

●5つの小学校校舎が普通財産となりました

廃校となった五つの小学校を教育財産から普通財産に移管して、学校開放に伴う使用料を定めたもの。

問 旅館・民宿等が合宿等で使用する場合は、「一般」ではなく「個人および合宿練習」に該当するのか。

答 その通り。

問 三国小学校の利用について、今夏はどうなるのか。

問 町道認定の経緯は。

答 ある方との約束による。

問 すでに道路ができて、下水も入っているが。

答 宅地として、道路と下水整備も条件。

問 町道認定が遅れた理由は。

答 その方は海外在住が長く、話が延び延びになっていた。

答 大学側からの申し出を受けて進めている状況なので、夏合宿での貸し出しは考えていない。

問 耐震設備のできていないのは、神立小学校だけか。

答 神立小学校だけです。

問 今後の神立小学校の方向性は。

答 民間利用がなければ解体となる。

問 湯沢小学校のプールについては、開放を考えているのか。

答 開放利用は考えていない。

湯沢町税条例の一部を改正する条例の制定

全員賛成

●法人税率が下ります

法人税率を100分の12・3から2・6%引下げする国の改正に伴うもの。この条例は平成26年10月1日から施行する。

問 改正によって町が受ける減収の額はどれくらいか。

答 1200～1400万円くらいと考えている。

請願第3号 30人以下学級実現・義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願

全員賛成

●請願者 新潟県教職員組合南魚沼市部執行委員長 板垣幸男

平成26年度湯沢町公共下水道湯沢浄化センターの再構築工事委託に関する協定の締結

全員賛成

平成26年度湯沢町公共下水道湯沢浄化センターの再構築工事委託に関する協定を締結するもの。

問 下水設備の検証は。

答 「基礎調査→計画→現場確認」となっている。

問 チェック体制はどうなっているのか。

答 技術的にわからないところがあるが、「打ち合わせ」で疑問はぶつけているし、下水道事業団側も疑問に答えている。

厚生福祉常任委員会

委員長 佐藤 守正

(請願1件) ※詳細は表決結果参照

請願第2号 「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める請願

全員賛成

●請願者 一般社団法人新潟県聴覚障害者協会会長 石川 渉

閉会中の常任委員会調査

総務文教常任委員会 5月26日

●企画政策室の業務展開

今年度、機構改革の検討を始める予定

行政改革については、職員数の減少によって様々なひずみや問題が生じている。来年4月実施を目標に今年度機構改革の検討を始める予定。

●問 町長の肝いりで発足した企画政策室だが、町民にとって分かりやすく説明するならば、どんな室と考えているか。

●答 室に対する期待感と受ければ嬉しいかぎり。事務分掌があるが、町長からはいろいろなことを指示されている。できる、できないは別に、町民とのふれあ

いを尊重する姿勢に込められるよう、他課との連携で応えたいと室員3人で話をしている。

●国際交流

今年度も実施
7名＋引率2名
7月4日～14日まで

●問 湯沢での受け入れ対応について、週末の過ごし方について、各家庭の自由奔放な対応にするのか、ある程度規制をした中で過ごしてもらうのか。

●答 キャンプ等は例外として、旅館・ホテル等に宿泊をする外出は禁ずることになっている。

●湯沢高原の現状

関東圏の大雪被害が残念だった

冬季営業

実績は、降雪が順調であり、ソチ効果もあつた。インバウンド客大幅増。

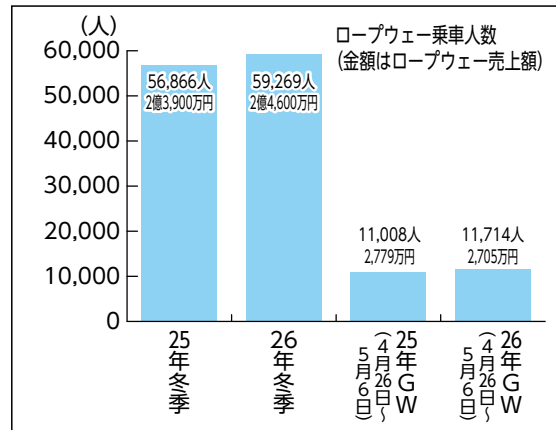
2月の関東圏の大雪被害が残念だった。

●問 湯沢高原「アルプ

の里」から湯沢高原「パノラマパーク」に表現が移行したのはなぜか。

20年かけて作り上げたブランドが湯沢高原「アルプの里」のはず。町はどう考えているのか。

●答 大変厳しい意見と受け止める。昨年、事業者から提案を受けての名称。町としてもこれまでの経緯から、湯沢高原「アルプの里」



湯沢高原ロープウェイの現状

と表現してほしい。事業者側は、高原の広いイメージを売りたいとの考えだと理解している。

●平成26年度湯沢町生涯学習計画と文化振興

今年度アンケート等を実施して来年策定する

生涯学習実施計画は10年毎に定めている推

議会活動日誌

4月1日	第6回議会広報常任委員会
4日	新潟県町村議会議長会 (新潟市)
8日	第7回議会広報常任委員会
9日	「湯沢学園」テープカット式
10日	湯沢小学校入学式 (午前)
15日	湯沢中学校入学式 (午後)
22日	第8回議会広報常任委員会
23日	第3回議員全員協議会
24日	「湯沢町・南魚沼市議会議員協議会」評議員会 (南魚沼市)
25日	第9回議会広報常任委員会
25日	政務活動費使途報告会
30日	議会基本条例研究会
30日	第10回議会広報常任委員会
30日	南魚沼地域土地開発公社監査 (南魚沼市)
5月2日	湯沢町精神障がい者家族会総会
11日	春季消防演習 (湯沢・神立・土樽)
13日	第3回議会運営委員会
16日	第2回臨時議会 (会期1日間)
18日	「湯沢町・南魚沼市」議会議員協議会総会・意見交換会 (南魚沼市)
19日	春季消防演習 (三国・三俣)
22日	第1回南魚沼地域広域計画協議会 (南魚沼市)
22日	第3回産業建設常任委員会
23日	新潟県特別豪雪地帯市町村議会協議会総会 (直江津)

進プランによって、今年度アンケート等を実施して来年策定する。

問 和太鼓継承事業（雪おろし太鼓）を湯沢学園内に移動して、部活動的な取り組みができないか。

答 旧三国小学校で取り組んできた「三国太鼓」の継承もあるので、今後の課題として考えてみたい。

● 統合文教施設推進事業と小中一貫校の諸政策

学校運営協議会の発足が遅れたが、6月15日から始動する

8月の交流アリーナ棟の完成を待つだけとなっている。コミュニケーションスクールとしての学校運営協議会の発足が遅れたが、6月15日から始動する。

産業建設常任委員会 5月22日

● 新潟デスティネーションキャンペーンの成果と夏秋観光の展開

旅行代理店対策・企画造成・広報活動

キャンペーンは、多くの京都につぐ8回目の開催。今回のテーマは「花」「食」「雪」「酒」「匠」。湯沢町の取り組みとしては、旅行代理店対策・企画造成・広報活動を行った。

夏秋観光の展開として、歴史文化の観光資源化と宿泊魅力向上、夏の雪遊びパーク・簡易雪室（湯沢高原・GALA・苗場）、フジロック対策、北陸新幹線開業の対策、インバウンド誘客事業など。

問 インバウンド、正確な統計数字の把握を。

答 努力する。

問 観光提案の16企画、町と町観光協会の立場

は。

答 プロモーションは町観光協会、町は支援・指導。

問 歴史文化の観光資源、雪国文学散歩だけでなく、昆沙門様・荒戸城・百番観音・仁王様とかを活かすべきだ。

答 次の展開として考える。

問 インバウンド対応で、外国語ができるスタッフ体制が保たれるべきだが。

答 調べてみる。外国語対応は3人のローテーションと聞いている。

● 産業振興対策

湯沢産コシヒカリの販売・消費促進、有害鳥獣駆除の実施

問 耕作放棄地はどのくらいか。飼料米等への転換は進んでいるか。

答 耕作放棄地は23ヘクタール。加工用

米・米粉用米への転換、なかなかこの地区では難しい。

問 有害鳥獣駆除は農家でなくとも町内単位で補助金が出るのか。

答 集落単位で熱意があれば対応する。

問 農振農用地の定義は。

答 三国三俣以外の農地として使用すべき土地で、宅地等の転用ができないところ。土樽、芝原、戸沢など。大字湯沢にはない。

● 地域整備課

問 南田中線突き当たりはどうなった。

答 都市計画道路なので要望はしているが、採択までの間、安全対策を考えている。

南魚沼地域土地開発公社理事会

（南魚沼市）

26日 第3回総務文教常任委員会

27・28日 全国議長・副議長研修会（東京）

28日 シルバー人材センター定期総会

（南魚沼市）

湯沢温泉旅館組合・温泉観光協会合同事業説明会

29日 シンガポール旅行関係者招聘事業説明会

6月1日 第65回全国植樹祭 （長岡市他）

4日 第4回議会運営委員会

養護老人ホーム「魚沼荘」改築工事安全祈願祭

（南魚沼市）

5日 第11回議会広報常任委員会

6日 津南町・湯沢町議会議員意見交換会

8日 湯沢町ポンプ操法競技会

10日 第3回定例会（会期9日間）

15日 湯沢町・南魚沼市合同山岳遭難救助隊訓練

26日 第12回議会広報常任委員会

27日 「湯沢町・南魚沼市」議会議員協議会評議員会

30日 県町村議会議長会第1回臨時総会

（新潟市）



第2回 臨時議会

5月16日

平成26年度
一般会計補正予算
(第1号)

歳入歳出予算に3971万9000円増額し、総額を61億6871万9000円とする。

歳入は繰入金を3971万9000円増額し、歳出は総務費147万9000円、教育費3824万円をそれぞれ増額。



建築基準法の改正により、構造が強化された湯沢学園いりろい広場天井

歳出の主なもの

●総務費

神立高原スキー場株式会社破産管財人との裁判費用等。

●教育費

交流・アリーナ棟のつり天井耐震強化で3500万円、総合文教施設工事における物価スライド適応内訳の作成委託料324万円。

主な質疑

問 この天井工事でのくらの強度となるのか。

答 消防署の次に強度がある。

問 平成25年8月15日に天井脱落対策に係る技術基準が告示されたが、久米設計、教育課もこの情報を知らなかったのか。

答 教育課は知らなかった。久米設計はある程度認識していたはず。

問 技術基準告示後の12月に、設計者からの話を踏まえて当初予算で収まると説明したの

に、いきなり3500万円上がるといわれても納得できない。

答 3月に出したのが技術基準と思っていた。細かい情報把握ができなくてなく、申し訳なく思う。

問 設計以前に中越地震・中越沖地震があり、また着工前に3・11の東日本大震災もあつて、子どもたちを安心安全な校舎で学ばせたいというのが大前提で進んできたはず。

安全に学べる校舎が作られていると思っていた。最初の構造自体が甘かったのではないのか。

答 設計の中では大丈夫だというやり方をやってきたが、基準を改正するにあたって「より安全を強化する」という形が出てきたと思う。

賛成多数で可決

【賛成8】

高橋五輪 夫人
岸野雅孝 雄
白井孝忠 夫
関田忠眞 子
宮村眞定 一
今澤利貞 保
半澤田 保

【反対3】

高橋綾 夫
角谷守 勉
佐藤 正

反対討論

角谷 勉

学校の建設費は、38億円に9億円が増額され、47億円でスタートした。昨年、教育委員会から前町長あてに「決められた経費の中で執行をするように」という意見書が出されてから、すでに約1億4000万円が増額されている。

また現在、施工者から物価上昇を理由に、3億円以上の増額要求が出されており、町民は学校建設の増額に大きな不信感を持っている。

今回の法改正については、昨年8月に「天井脱落対策に係る一連の技術基準告示」が公布されており、設計会社は改正内容については十分周知していたはずである。

「当初は予算内で処理できると判断していたが、工事の結果3500万円の増額となる」との説明では、理解するに至らない。

議員全員協議会

第2回
平成26年
3月24日

***湯沢町すくすく
子育て応援金**

出生時に6か月以上の
住民登録がある親へ
出産一人につき10万円
支給。

***軽自動車税増税**

標準税率を27年度分
から自家用は1・5倍
に、その他は1・25倍
に引き上げる。

第3回
平成26年
4月15日

***統合文教施設の
建設費にかかる
スライド条項の
適用**

建築J・Vより4月10
日付けで3億590万
円（税抜）の請負金額
増額の請求がされた。
問 請求額の基になっ
た概算残工事13億30

00万円の根拠は何か。
答 J・Vが出してきた
金額であり、町はこれ
から算定する。

***2016
ワールドカップ
開催**

2016年2月13
日・14日開催予定、競
技種目は男子の回転と
大回転、大会経費2億
5000万円見込み、
組織委員会で資金集め
をして2015年4月
頃最終決定する。

問 開催予算に地元負
担3000万円とあり、
町の負担は2000万
円と言われているが。
答 県にも出してもら
いたい、数字はまだ
話していない。

第4回
平成26年
5月16日

***三俣浄化
センター建設**

平成25年9月に下水
道事業団と協定締結を

し、過去2回は業者に
技術者がいなくて「応
募なし」で、3回目は
価格に開きがあり「不
調」になった。

問 入札が失敗した理
由は何か

答 契約時、業者に技
術者がいなかったこと
と、新年度は25年度の
設計単価を採用し差額
が大きかったことであ
る。

***駅東口の
「道の駅」構想**

平成26年1月9日J
Rより駅東口の「道の
駅」が提案されていた。



JRより「道の駅」構想が提案された駅東口

議員表決結果報告 26年5月臨時議会・6月定例議会

- ・採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決・採択等の場合：否＝賛成少数で否決・不採択等の場合）
- ・表決結果の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠・除斥＝除）：議長は表決に参加できません。

提出者		議案名	採決結果	高橋五輪夫	岸野雅人	高橋綾夫	角谷勉	白井孝雄	関忠夫	宮田眞理子	今村定一	佐藤守正	半澤利貞	師田保
町長	5月臨時議会	湯沢町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		湯沢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		湯沢町老人医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成25年度一般会計補正予算（第12号）の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成25年度国民健康保険特別会計補正予算（第5号）の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成25年度介護保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成26年度一般会計補正予算（第1号）について	可	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○
町長	6月定例会	湯沢町固定資産評価審査委員会委員の選任について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		湯沢町普通財産使用料徴収条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		湯沢町税条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		湯沢町道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		町道の認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成26年度湯沢町公共下水道湯沢浄化センターの再構築工事委託に関する協定の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成26年度下水道特別会計補正予算（第1号）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成26年度水道事業会計補正予算（第1号）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成26年度一般会計補正予算（第2号）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願等	6月定例会	「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める請願	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会提出	6月定例会	「手話言語法」制定を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一

般

質

問

6月
12日
13日



6月の定例会では、10人の議員より一般質問が行われ、町政全般について、2日間にわたり活発な議論が展開されました。

質問と答弁を要約した内容は10ページから18ページです。

紙面の都合上、テーマをしぼっていますので掲載されていない項目がありますが、ご了承願います。

- 宮 田 眞理子 議員「ふるさと納税の薄謝について」…………… 10ページ
- 関 忠 夫 議員「湯沢駅に自転車置き場を」…………… 11ページ
- 高 橋 五輪夫 議員「将来予測の人口減少について」…………… 12ページ
- 半 澤 利 貞 議員「町長の観光ビジョンを問う」…………… 13ページ
- 角 谷 勉 議員「湯沢高原の現状と今後の見解を問う」… 14ページ
- 岸 野 雅 人 議員「旧湯沢小学校の校舎利用を模索すべき」15ページ
- 高 橋 綾 夫 議員「ノリタ光学跡地の活用方法は」…………… 16ページ
- 佐 藤 守 正 議員「要支援者の介護保険外しの対応は」……… 17ページ
- 南 雲 正 議員「地方人口の減少に対する対応を急げ」… 18ページ

質問

ふるさと納税のお礼は 感謝の気持ちの伝わる品を

答弁 考えていきたい

問 25年度の湯沢ふるさと基金は182万4000円であった。テレビ等でふるさと納税のお礼が話題にあがっている。

答 わが町からのお礼はバッジ、入浴券等さまざまなものである。町に来られる方にも来られない方にも、感謝の気持ちが伝わる品を考えるべきではないか。

答 特産品競争に加わるのではなく、多くの方に町を訪れて頂き、ふるさと湯沢を身近に感じて頂けるよう見直していきたい。

企画室長と考えているかと話していたところだ。



宮田 真理子

質問 再生可能エネルギーの推進を図れ

答 町活性化のため事業者を応援していく

問 湯沢は雪、水、温泉と再生可能エネルギー資源に恵まれた町である。経済産業省も県も再生可能エネルギーについて前向きな取り組みを行っている。事業としての実行が難しいのであれば「推進宣言」をしてはどうか。自治体としての

答 姿勢が大事である。

答 町の事業としては考えていないが、町活性化への新産業として、事業者を応援する補助制度を検討している。「推進宣言」については十分な調査、基盤体制を整えてからにしたい。

質問 認定こども園の開園、時期とその理由は

答 平成28年4月開園、総合的な視野で検討した結果

問 保育園の保護者さん達から、春の開園を望む声が上がっていた。そのアンケート結果とまとめをお預かりしている。声が届いてのことと思うが、ご覧いただきたい。

開園の時期とその理由

答 27年12月開園を目指してきたが、年度途中の冬に向かう時期で、保護者さんの不安の声や、町としての体制強化を考え総合的に判断し、平成28年4月開園と決めた。

質問 今後の湯沢学園のため教師、保護者の意見を

答 学校との連絡を密にしていきたい

問 開校して2カ月が過ぎ、様子や使い勝手も解ってきた頃だと思う。吹き抜けからの声の反響、階段の構造が危険、トイレの数が少ない、チャイムが無いのに廊下に時計の設置がない等の不具合が生じていると聞いた。それぞれの改善策は。

答 校舎棟の一部使用

の開校であることから不安は少なからず予想はされていた。先生方と改善策を検討してきた。

施設使用の改善や注意喚起を行い、対応に時間のかかるものは夏休みに予定している。学校との連絡を密にしていきたい。



五十沢地区小水力発電所

質問



関 忠 夫

湯沢駅に自転車置き場を

答 弁 設置できるように協議する

問 電車通学をする高校生、湯沢駅まで自転車で行く方がいます。駅に自転車の置場がなく困っている。高校生が安心して通学できるように、湯沢駅に自転車置き場の設置をしていただきたい。

答 関係者と協議していただき、ぜひ自転車置き場の設置をしていただきたいが、町の対応を伺う。

答 自転車置き場を指して、場所とどのようなかたちがよいかと協議して、駐輪場の設置をしていきたい。



湯沢駅東口の自転車置き場

質問 遠距離通学者に助成金を

答 弁 現状では対応できない

問 遠距離からの高校通学者は通学定期券を購入しており保護者の負担が多く、町から助成してもらえないかとの声があります。湯沢

答 町で生活し、子育てしていく上で、生活しやすい環境にしてみたい。遠距離に在住する保護者は子どもを高校に通学させるために大変な苦労しております。遠距離通学者に定期券購入、助成の対応をしてもらえないか伺います。

答 できること、できないことがあ

質問 外湯温泉施設の冬期間全日営業を

答 弁 営業するのは難しい

問 冬期間、湯沢町には多くのお客様が来町します。スキー・スノーボードを楽しむお客様をはじめ、湯沢の温泉を楽しむに来町するお客様に、冬期間、外湯温泉施設の全日営業を実施していくべきと思います。

答 湯沢町の観光は自然と温泉の楽しめる魅力のある町です。来町したお客様に「おもてなし」の接客をすることが大切だと思います。冬期間外湯温泉施設の全日営業ができるか伺います。

答 湯沢町は観光立町としてお客様に満足していただくことが大事であるが、町営温泉を利用する多くのお客様は車での来町が多く、定休日であっても他の施設の利用ができるので現状では難しい。

ないことがある。遠距離とはどこまで意味するのか、町が定期券の助成をすることは一般的に難しいが、鉄道事業者に割引を要望する。

質問

将来予測の人口減少率について どう認識しているか



高橋 五輪夫

答 弁

単一の指標であり
地方に対する問題定義だと認識している

問 日本創造会議が先日発表し全国の新聞に掲載された、2040年の将来人口予測結果が湯沢町は県内ワースト2となっていた。行政執行、運営の立場からこの結果をどのように認識しているか。

答 単一の指標であり地方に対する問題定義だと認識している。将来のことは様々な要因でどうなるかは判らないが、自治体がなくなることはないかと冷静に受け止めている。

問 「住んでよし、訪れてよし」は観光立国推進法の中の基本方針であるが、湯沢町でも同じである。しかし現状は仕事になかったり、例えばあつたとしても3Kといわれる職は敬遠されてしまっているためか若者は都会に行き、結果「住んでよし」と思わない住民が多いのではないかと考えるがいかが。また対策を講じるようでしたら、その案をお聞かせ願いたい。

答 若者の都会嗜好は今に始まったことではないが、雇用の場所が確保できるようにしイターン・Uターンにも力を入れたい。

問 内閣府の調べによると、国内総生産量はバブル以降も右肩上がり推移しているが、1987年以降は国民の生活満足度は下がっている。この数値で日本の幸福度はお金の成長では計れないということだと思ふ。

答 また日本青少年研究所が平成24年に日米韓中の高校一年生に対して「自分はだめな人間と思うか？」の質問に対し日本の高校生の

84%がイエス。しかし中国は39%・韓国は32%である。これは将来に対して悲観している大人が原因なのか、社会情勢が原因なのか考えさせられる結果がある。

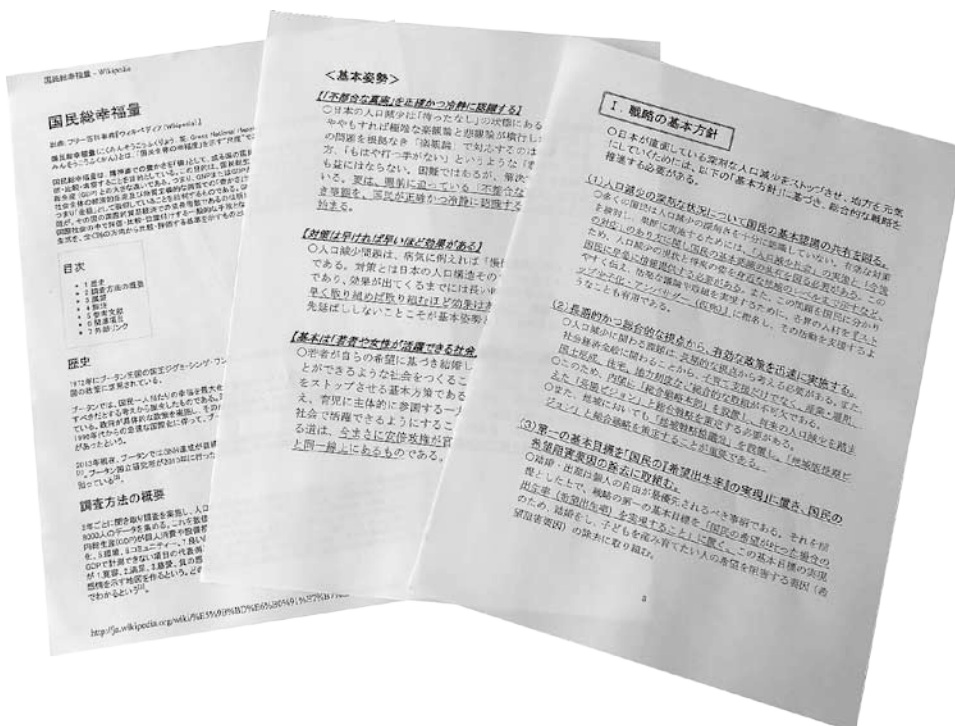
そこで湯沢町はブータンのように町民幸福度調査のようなことを行い、その結果に基づいた行政の政策を行うべきと思うが、いかがであるか。

湯沢は旧5力村の地域間によつて回答する項目に相違があれば、そのことについての適材した政策を検討することもできるが、このような住民満足度調査を行ってはいかがか。

答 生活満足度調査はぜひ検討したいと思う。

その他の質問

○大分県竹田市の取り組み組んでいる非常に先進的な「温泉療養保健システム」を湯沢町でも検討し、一定の基準を満たした滞在客に対して、観光助成金をインセンティブで使えるようににはできないか。など



質問



半澤利貞

町長の観光ビジョンを問う

布場スキー場／苗場ワールドカップ／温泉湯量

問 昨年、布場スキー場用地を地主に返還して補償金も払った。布場を再開する話があるが、妙案があつてのことなのか。

答 向こう2年間の契約をした。高原からの下山コースの問題もある。

要望 妙案はないかと問うている。隣町のシャトー塩沢では子どもたちに田植えをさせたり、稲刈りをさせたり、餅つきをしたり、雪遊びをさせたりしてお客様を確保している。スキー客がいても食堂は営業しない、客を泊めても他のスキー場に送る。これはダメ。地元の人に営業を任せよう指導を要望する。



布場スキー場センターハウス

問 苗場でワールドカップの開催を計画しているようだが誘致するのか。経費はいくら必要か、経済効果をどれくらい見込んでいるのか。

答 湯沢町に元気がでるよう誘致したい。経費についてはSAJがスポンサーを集めている。町は2000万円

を予定している。経済効果は試算していない。**問** 来年3月に開催予定額が集まらないときは辞退するとしているが、立候補しながら辞退することが可能か。

答 一過性の事業に、不透明な計画に、警鐘を鳴らす。

答 そういうことのないよう努力する。

問 湯沢温泉は湯量が少なく、全国百選にも入っていない。千人風呂・万人風呂の時代はよかったが、各地にかけ流しの湯があり循環式の湯では人気はでない。

答 掘削して湯量を増やし、対応すべきと考えますが、町長の考えを伺います。

答 湯量は充分であると聞いております。また、宿ごとに様々な形態でかけ流しを実施しております。

しかし、風呂の温度管理や衛生管理をするうえでは、循環式にも大きなメリットがあり、また経営に係わる問題でもあります。さらに源泉掘削は資源枯渇の恐れもあり、慎重に進める必要があります。

温泉ランキングですが、景観や温泉情緒と言った温泉地としての質の向上を図りたいと考えております。

問 町長の考える観光計画について伺います。

答 基本的には観光振興計画に沿って進めていく。

温泉通りの整備事業、国際的で魅力的な観光地づくり、おもてなしについても検討する。

提案 湯沢町は山と緑と川の町です。万年橋の河川公園化、併せて神立堰の洗い越し、東山公園の川の駅。駐車場も必須条件です。大源太にはすでに確保してあるようだが、具体的な話が出てこないのが残念です。

質問

多額の負担が発生している湯沢高原 営業形態、契約方法等今から検証すべきでは

答弁 運営会社の実績は評価している
現状を分析し検証を行う



角 谷 勉

問 国の指針によれば、公営企業を経営継続するならば「経営責任の明確化や運営の改善を行うとともに、議会や住民へ経緯、手法の最善理由、損失補てんの必要性等の情報開示を行い、議会での議論及び処理策の適切性の確認」があげられている。当初の契約は経営責任が運営会社であり、町の損失補償もなく完全民営化だったから、土地及び施設の賃貸借契約でよかったが、現在は前契約期間で発生した約1億2000万円の累積赤字解消を行っている。結果、多額の負担が町に発生している。

他の自治体ではス

キー場の民営化は指定管理者制度を導入している。現在の契約が最善なのか、契約方法・契約内容を検証すべきでは。

答 町営時代の赤字が多額だったため民営化を図り、貸付料が町に入るよう賃貸借契約とした。現在の契約方法が最善なのか検証する。

問 昨年度売上は約5億5000万円、町の支出は施設整備と災害復旧費で年約2億円である。

湯沢高原に構造的なマイナス要因があるかどうか、営業形態を検証すべきでは。

答 支出は多いと思うが、長いスパンで考えている。運営会社の実績は大いに評価している。現状を分析し、営業形態を検証する。

問 累積欠損1億2000万円の解消年度はいつか。

布場の営業継続を決定しているとのこと、営業継続により累積欠

損の解消が遅れ、町の負担が増えていく。町をあげて活性化を図らなければならないが。

答 平成27年度を予定している。クローズは地域に経済的マイナスが発生する。活性化策は、今後検討する。

問 昨年度の湯沢高原の収支は。

答 利益は約3000万円。

要望 一方で、町の持ち出しは約2億円である。全体の数値を検証し、行政と議会と共同責任のもと、今後の方向性を議論していくべきである。

問 布場の営業継続にあたり、リフトの整備が必要とのこと。

答 2000～4000万円と聞いている。状況を検証し対処する。

問 公営企業の抜本的改革の指針を受けて、湯沢高原の現状と今後の取り組み方は。

答 観光立町の顔であり、今後も民間に経営委託をするが、採算性

等検証していく。



契約3年目を迎える湯沢高原



岸 野 雅 人

質問

旧湯沢小学校校舎は看護福祉系 専門学校としての利用を考えるべき

答 井 公園としての利用が最善と考える

問 越後湯沢駅の地理的特徴／旧湯沢小学校へは『徒歩圏』／各種商店や食堂などの都市的機能／公園面積拡張可能／大型車両も侵入可／少子高齢化と人口減少／若年層の首都圏への流出と貧困／暗い見通しの人口予測。

地域の実態として、いわゆる『多死社会』構造はつづき、医療福祉関係の従事者も不足するだろうし、特に看護師不足は深刻。

町長の『開花八策』の中に人口増加のための施策実施がある。

そこで、耐震工事も含め、旧湯沢小学校の利用については、民間法人による看護福祉系の専門学校としての活



専門学校として絶好の立地条件にある旧湯沢小学校

用に、真剣かつ積極的
に取り組んではいか
か。

答 ご提案は素晴らしいが、その地区が都市計画で近隣公園となっていることを解決しなければならぬ。民地にも0・5ヘクタール

設定されている。現段階では学校としての使用道は考えていない。

問 40年か50年後、自治体がなくなるか否か、なくなるとすれば、今後将来に向けての地道な努力によってである。それなのに、40年

前のきまりに縛られていてどうする。県だつて人口問題は大きな課題。しっかり取り組んでみてから諦めるべき。

答 以前に県からも返事をもらっている。また平成14年に近隣公園解除の請願も出ている。公園としての利用が最善と考える。

質問
公道除雪の役割と作業に
正当な評価を

答 井 上部機関に働きかけたい

問 公道の除雪作業は、体制維持や技能伝承など、高い難易度なのに『経営事項審査』の『その他』に分類され、入札の資格要件に影響する『土木一式』として評価されていない。

国や県に先んじて、町単独の工事入札の際

答 町単独では考えないが、主旨はよく分かる。何らかの形で上部機関に働きかけをしたい。

質問
サービス産業の土台づくりを

答 井 実現に向け、取り組みをしていきたい

質問

旧小学校舎及び跡地の利用法は
地域の人と相談して決めよ

高橋 綾夫

答 弁 懇談会等で声を聴いた中で決断する

問 旧小学校はそれぞ
れ地域の中心地にあり、
今後の町づくりを考え
て行く上で重要な立地
条件ですので、利用法
は地域の人としっかり
相談して決めていくべ
き。

答 行政コストの削減、
教育予算の確保、町と
地域の活性化、そして
維持管理経費負担の解
消という視点から方針
を定めて対応したい。

問 新たな町づくりを
していくうえでチャン
スと捉え、懇談会も含
めて住民とじっくり相
談して決めるべき。

答 町としての方向、
要項を企画政策室で検
討中。14会場での懇談
会等で声を聴いて決断
する。

質 問 ノリタ光学跡地は
将来の町づくりに生かすべき

答 弁 企業誘致を必ず実現したい

問 前町長はこの土地
へ企業誘致するのに障
害となっていた汚染土
壌を昨年除去したが、
安易な経済、雇用対策
として企業誘致するよ
り、町民としっかり相
談して将来の町づくりに
生かすべき。

答 企業誘致は開花八
策に掲げた公約の一つ
で、今後の町に必要と
考えており、積極的に
取り組んでいきたい。

問 企業誘致で恒久的
な町経済の発展はでき
ない。当時の町長が町
民の夢を買ったのだと
聞いた。原点に戻り町
民とじっくり相談して
決めるべき。

答 様々な声があるが
『若者の働く場を何と
かしてくれ』という声
が大きい。

簡単ではないが企業
誘致を必ず実現したい。

質 問 マンション定住者及び
二地域居住者に
もっと配慮せよ

答 弁 住民とのサービス格差が生じないよう
努力する

問 マンション定住者
と二地域居住者への行
政サービスを格差なく
きちんと行つため、ま

た共同での町づくりを
進める上でも、近隣の
町内会に参加していた
だくか、いくつかのマ



岩原マンション群

ンションがまとまって
町内会を設立していた
だくことが必要と思っ
た。

答 住民の意思と町内
会の判断で決めること
で町が介入すること
でないが、町内会に所

してないことが行政
サービスを受けるうえ
で不利にならないよう
努めている。またマン
ション内に自治会が設
立された場合は町内会
に準じて対応する。



佐藤 守正

質問

要支援者の介護保険外しには どのように対応するのか

答 弁 委託先を掘り起こし整理分担をして対応したい

問 国の方針で、要支援の訪問介護と通所介護が介護保険から外されて町の事業になる。要支援者への居宅サービスはどうなるのか。

答 これは29年度からの制度。既存の事業者に加え、サービスの提供が可能な事業者へ委託をすることになる。

問 そうなるとサービスはどのように違ってくるのか。

答 訪問介護の身体介護は社会福祉協議会、NPOや民間事業者が掃除や洗濯などの家事援助、住民ボランティアがゴミ出しなどの生活支援、そんな想定をしている。通所介護は今まで通り。

問 ボランティアの生活支援を経営的に維持する力が、町のボランティア組織にはあるのか。

答 有償ボランティアの登録者を増やし、またシルバー人材センターからの派遣も検討

する。

問 介護保険と町事業とではサービスを受ける権利の強さに本質的な違いがある。

答 要支援者の権利を確保しながら、サービスの内容が低下しないよう望む。



湯沢町が人口減で消滅の可能性 対策に全力を

答 弁 起業支援の補助制度を創設したい

問 湯沢町の人口は平成40年には5215人にまで減る。特に出産の可能性のある20歳から39歳までの女性人口が741人から196人へと73・5%も減る。これは町が存続しえない減り方である。

答 湯沢町に新しい産業が起これば、雇用が生まれることは望ましい。起業は採算が取れるかどうか最大の焦点で、湯沢での起業を応援するために、起業支援の補助制度を創設したい。

例え、ペレット製造とペレットストーブの普及で新たな産業を興すことを考えたかどうか。

町長は企業誘致が人口減への最大の対策と考えて、「企業誘致支援要綱」で優遇策を講じているが、どれほどの効果があるのか。

答 ノリタ光学跡地は土壌汚染除去後の水質検査を行っている段階であり、企業誘致は不透明である。

問 湯沢の中で新たに仕事を作り出すことが大事だ。観光だけに特化せず、多様性のある産業を育てて魅力ある労働市場を作る必要がある。

質問

国の有識者会議が公表した 地方人口の減少に対する対応を急げ

答弁 仮定の試算値であり、発表前から各自治体では人口増対策を実施している

問 全国の約半数の自治体で30年間に20代から30代の女性人口が半減するという。湯沢町でも73・5%の減少が示されている。町長は企業誘致や企業支援、子育て支援の充実で人口1万人への回復を目指しているが、豪雪地というハンディは地域間競争においては不利な条件である。わが町の持つ歴史と伝統に裏付けられた交流人口の増加策を最優先施策とすべきではないか。

答 この予測は仮定に基づく試算値。子育て支援、若い世代の働く場の創出等の施策を多面的に実施し、開花八策に掲げた循環型社会を確立する。



南 雲 正



工事中の湯沢学園

質問 オール湯沢で取り組む湯沢学園実現のために、全国学力テストの結果の公表を

答 公表はしないこととした

問 町の教育方針が『地域に愛され地域で育てる学校』であり、湯沢学園が『オール湯沢で取り組む共育の町、湯沢』の実現を目指すのであれば、全国学力テストの結果を公表し、地域と学校が目標を共有して学力向上に取り組むべきである。

組むべきである。

答 教育委員会では、メリット、デメリットを検討して「序列化や過度な競争につながり、調査偏重、順位偏重になる」等の理由から公表しないこととした。全人的な成長をめざし、学力も着実に向上している。

質問 湯沢学園の特色ある教育課程の編成として、小学1年生から英語教育を

答 ALTが1年から4年まで全学級で年間19時間外国語活動を計画している

問 小学校5年生からの英語学習につなげるために、小学校1年生から英語に親しむ環境を子どもたちに提供することも特色ある教育の実践であると思う。

答 グローバル化社会に通用する人材育成のために環境整備を図るべきである。

問 ALT 2名を採用して5、6年生の外国語活動や中学校の外国語の授業で活用するとともに、1年生から4年生についても全学級で年間19時間外国語活

※ALT:

Associate Language Teacher

主に英語を母語とする大学卒業者を日本に招聘し、外国語指導助手(ALT)として、小学校・中学校に配置している。外国語活動、英語の授業に参加し、指導の補助に当たっている。

動を計画している。保、小、中一貫体制で外国語を学ぶ機会を設定していて、都会に負けない教育であると考えている。

議会に一言

女性 (30代)

保育園に通園してる子どもがいるので、「湯沢学園」関連についての正確な情報を知りたいです。

夫婦共働きのため、延長保育や車で5分以内なので近くて大変助かっております。この環境がどう変わるのか心配です。

①送迎時の交通手段

②時間の融通

③早退時の送迎

④土曜保育の内容等々。

4月10日に入学式を行ったものの未だに未完成。

ネット上では工事写真が中心で、工事の進行状況・どうして長引いてるのか？等々の具体的な表記はなく、現状の情報公開を希望。

8月に完成と以前新聞にも掲載されていたが、正確な情報が伝わってないことにさらに不信が募ります。工事が長引いてる理由・当初の予算で賄えてるのか？

等、実際何もわからないので、町長や関係者さんと湯沢学園を利用する親との顔を合わせた説明会があってもいいのでは？ 何度かアンケートを書かされておりますが、回答は見たことがありません。

子どもたちの安全を考えているのであれば、工事車両の出入りする場所の配慮があっても良いかと思えます。ハッキリ言って危ないです。どうしてそこまでして、統合しなければいけないのか…？

さらに、人口減少が今後益々加速すると思います。現に広報を見ても、一週間で亡くなる方の人数が生れる子どもの数倍！ 子どもを育てやすい環境を充実しPRしなければいけないと思います。

保育園もクレヨン（教材費）・遠足（ロープウエイ代）と通園費以外に負担金があります。働く場所

もなく、賃金低下の現状、私の友人も子育てしやすい（援助・支援が多い）県へ移動しました。実際3人子どもを育てています。

本当ならば、自然豊か、お米・水も美味しい、医療センターは土日も診てもらえる・治安がいい（安心・安全）と揃ってる町でありながら、住みにくい町になってる気がします。

※今回の「議会に一言」は、行政への要望が主となっておりませんが、そのまま掲載いたしました。

「湯沢町議会基本条例」の制定に向けた研究が進められています

「町民の皆様信頼される、開かれた議会」を目指し、湯沢町議会基本条例策定を会が議員有志9名により今年1月に発足しました。

すでに4回の会議を開催し、条例の趣旨、目的が確認され、いよいよ条例の構成内容の検討が始まります。

条例の骨子がまとまり次第、説明会等を開催して町民の皆様方のご意見をいただく予定です。

湯沢町議会基本条例研究会のメンバー

・座長 南雲 正
・幹事 佐藤 守正
・記録 高橋 綾夫
・メンバー 高橋 五輪夫

半沢 利貞
宮田 眞理子
関 忠夫
角谷 勉
岸野 雅人

※議会基本条例とは、自治に基づく地方議会運営の基本原則を定める条例。2006年5月18日に施行された北海道栗山町の「栗山町議会基本条例」が最初と言われている。

追跡 レポート [第10回]

あの質問はどうなった？

これまでの質疑の中から一部を取り上げ、
その後の経過を追跡してみました。

高橋 綾夫

平成25年3月議会

質問 湯沢町観光振興計画を官民一体で遂行せよとの要求に対し、湯沢町観光協会を中心とした、官民合同の推進委員会の立ち上げを検討したいと答弁。

結果 湯沢町観光協会の常設3委員会の正副委員長からなる「連携推進委員会」を新たに組織し、官民合同で観光振興計画の具現化に向けた事業に取り組んでいる。

平成25年12月議会

質問 各種委員会や審議会の見直しと強化を図れとの要求に対し、委員会が十分機能しているか再度検討し、必要があれば直していききたいと答弁。

結果 これから調査し、判断します。

平成26年3月議会

質問 ソーシャルネットワークサービス活用をもつと積極的に行政全体で行うべきとの要求に、現職員体制でどうできるか研究していくと答弁。

結果 試験的な運用を続けてきたが、今後は、積極的な活用をするため町の運用方針を定め、対応していききたいと考えている。

角谷 勉

平成25年12月議会

質問 「開花八策」の事業工程の公表はいつかとの質問に、具体的な施策と事業工程は企画政策室で進めていくと答弁。

結果 すでに作成してありますが、細部の調整をしているところです。近々お知らせできると考えている。

平成26年3月議会

質問 町づくりを定めた「湯沢町総合計画」の周知を図れとの質問に、周知度を上げるために町民の目につく機会を増やすと答弁。

結果 従来から町のホームページに掲載しているほか、公民館の図書室に総合計画書を見られるコーナーを設置した。

質問 「童画のまち・ゆざわ」をコンセプトにした街づくりを推進すべきとの要求に対し、町全体で「童画のまち・ゆざわ」を推進し、童画館の建設は場所も含め全体的な構想のなかで検討すると答弁。

結果 雪国館の増改築も含めるなかで検討中である。

岸野 雅人

平成23年12月議会

質問 湯沢高原スキー場に関して数名からなる監理監督のための委員会あるいは勉強会を立ち上げるべきではないか。布場スキー場ロマンスリフトの高原への移設時期はもう1年先に延ばし、合意形成への努力をすべきと考えるがいかがか。

結果 平成24年より「湯沢高原ロープウェイ運営委員会」発足。布場スキー場はあと2シーズン営業する（1年先送り）。そしてその後のことを検討する。

平成24年3月議会

質問 湯沢町封筒のキャッチは文化的にも商業的にも国内外に名が通る小説「雪國」に関するものが望ましい。

結果 小説「雪國」の冒頭部分と写真が掲載される。

平成25年6月議会

質問 『北越雪譜』の名文を選択し、小・中学生に朗読や暗唱を取り組んでいかがか。また、教育課程にどう位置づけられ、具体的な授業内容はどうなる予定か。

結果 平成26年4月より『学習資料 大好き湯沢』に『雪國』と『北越雪譜』が掲載。

南雲 正

平成23年9月議会

質問 地域の人たちが学校運営に参画できる学校運営協議会の設置提案に対して、県内の教育委員会から情報の提供を受け、前向きに考えたいと答えていたが。

結果 湯沢学園開校に併せて、文部科学省の指定を受け湯沢学園学校運営協議会（会長 阿部道夫ほか16名）が立ち上げられ、6月5日スタートした。

平成23年12月議会

質問 観光の町湯沢の美しい景観を守るために、空き家の適切な管理を所有者に義務付ける条例制定の提案に対して、調査検討した中で考えていくと答えていたが。

結果 昨年12月議会で、湯沢町空き家等の適正管理に関する条例（平成25年12月27日施行）が制定され、勧告を受けた空き家の管理者による撤去作業も行われている。

佐藤 守正

平成24年3月議会

質問 施政方針で「これまでのバイオマスタウン構想は失敗だった」、今後は「構想を再構築するためのプロジェクトチームを編成して検討したい」と表明したが。

結果 産業観光課・総務課・町民課・上下水道課の班長等を中心に検討した結果、バイオマスタウン事業等の再生可能エネルギーの利用は多額の初期投資とランニングコストが必要になることから、起業者に対して町は支援するという立場で取り組む。

平成25年3月議会

質問 就学援助の申請用紙等を需給基準等の例文を含め、全児童・生徒に配布すべきとの要求に対し、考えてみたいと答弁。

結果 学校を通じて全児童・生徒に就学援助要領を配布するとともに、広報に2回とホームページに掲載し、小中1年生の体験入学時にも配布しました。

宮田 眞理子

平成25年12月議会

質問 企画戦略室と政策担当、諮問委員会の設置はとの質問に対し、企画戦略室は戦略的に施策を企画し推進していく、民間や中央省庁との人事交流を行い、政策担当もお願いしている

結果 4月から企画政策室を立ち上げた。民間や中央官庁との人事交流については様々な問題があり、引き続き検討していく。諮問委員会については、ふれあい懇談会など様々な機会を通して、多くの町民の方々の声に耳を傾けたいと考えている。

高橋 五輪夫

平成25年12月議会

質問 高等学校等のスキー修学旅行の入湯税を、近隣市町村のように非課税にすべきという質問に対し、前向きに考えたと答弁。

結果 26年3月議会に、湯沢町入湯税条例の一部を改正する条例の制定について審議され、全員賛成で可決。条例改正し、高等学校との学校主催の教育旅行は入湯税は非課税になりました。

湯沢町議会の 政務活動費について

湯沢町議会の現況をお知らせします。

金額 湯沢町では現在、議員に活動経費の一部として月額5000円（年間60000円）が公布されます。

使い道 使途（対象経費）は視察研修、要請陳情活動などの交通費・個人報等の印刷・参考図書購入代金・通信費（切手代）・事務費（紙等の消耗品）など条例で定められています。

報告 年度終了後は収支に関する報告書を議長に提出し、4月20日頃を目途に開催される議員全員協議会において、各議員が一年間の収支報告をすることが義務付けられています。収支報告書にはいずれも「領収書（原本）」を添付し、視察研修等に充てた場合には「報告書」も添付します。

返金 政務活動費を全額支出しなかった場合には、残余の額を会計年度閉鎖までに返還します。

実績 平成25年度の全交付額は49万4195円でした。

閲覧 町内に居住されている方及び町内に事業所等を有する個人・法人等は議会事務局に申請すれば収支報告書の閲覧ができます。

この人に 会いました



ともひろ
井口智裕 さん
生年月日 昭和48年7月6日生まれ

Q1 まずは自己紹介をお願いします

越後湯沢駅西口のHATAGO井仙の代表をしています。

本業の旅館業以外に旅館仲間3人と一緒に経営している合同会社雪国食文化研究所と一般社団法人雪国観光圏の代表理事も務めています。

Q2 観光圏とは何ですか？

市町村や都道府県の行政区にとられず、快適にお客様が地域を回遊していただくに、複数市町村で一つの広域圏を形成し、互いの地域の特徴や強みを活かす

た取り組みをすすめていくことが観光圏の取り組みです。

その中で湯沢町が中心となつて進めている雪国観光圏は全国で6か所しか認定を受けていない「ブランド観光地準備地域」として、観光庁に協力をいただきながら、日本の顔になるブランド地域を目指して活動を進めています。

Q3 将来のこの地域に対してどのようなことを期待しますか？

「100年後も雪国であるために」が雪国観光圏の基本理念です。そのためにはお年寄りが

Q4 湯沢町議会に期待することはなんでしょうか？

私は町づくりにとって大事なことは理念の共有だと思います。目の前のよりよい暮らしも大事ですが、議会の皆様には湯沢町の100年後に

幸せに暮らし、大人が情熱をもつて仕事に取組み、子どもたちが親の背中を見ながら夢を持てる地域にしたいと思っています。



あるべき姿をしつかり共有し、その理念にむかつて一歩ずつ現状を変えていく努力を行ってほしいと思います。

編集後記

読んでもらえる以前に、まず手に取って見てもらえる広報づくりに向けて取り組んでいるつもりですが、なかなかかはかしくは改善されません。それでも、写真を載せてその説明を入れ、「〓について」というタイトルをやめて見出しを加えるなど、工夫をしています。

また今回から一般質問はタイトルを入れて900字としました。皆で文章を短くする努力をしています。

さらに委員長提案&担当で「あの質問はどうなった？」の特集を盛り込みました。いかがだったでしょうか。

残る任期中も同様に取り組むつもりです。改善へのご意見などお寄せいただければ幸いです。

広報委員 岸野雅人

広報委員会

委員長 角谷 勉

副委員長 白井孝雄

委員 岸野雅人・高橋綾夫

関 忠夫・高橋五輪夫

編集

湯沢町議会広報常任委員会